



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年7月31日

東

上場会社名 川崎近海汽船株式会社 上場取引所
 コード番号 9179 URL https://www.kawakin.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 赤沼 宏
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 島田 一郎 (TEL) 050-3821-1345
 四半期報告書提出予定日 2019年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	11,086	5.5	△43	—	△68	—	△13	—
2019年3月期第1四半期	10,507	10.9	△165	—	△104	—	△68	—

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 △188百万円 (—%) 2019年3月期第1四半期 △42百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	△4.49	—
2019年3月期第1四半期	△23.39	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	47,612	26,533	53.3
2019年3月期	48,370	26,902	53.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 25,380百万円 2019年3月期 25,722百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	60.00	—	60.00	120.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	60.00	—	60.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
第2四半期(累計)	23,400	5.4	1,050	54.1	1,050	38.0	750	△16.4
通期	47,900	4.7	1,550	△22.7	1,550	△24.3	1,000	△41.1
								340.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期1Q	2,952,500株	2019年3月期	2,952,500株
2020年3月期1Q	16,904株	2019年3月期	16,904株
2020年3月期1Q	2,935,596株	2019年3月期1Q	2,935,596株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)におけるわが国経済は、個人消費や雇用情勢の改善を背景に緩やかな回復基調が続きましたが、米中貿易摩擦や中国経済の減速により輸出や生産に弱さが見られるなど回復のペースは鈍化しました。

海運業界を取り巻く環境は、外航海運では市況に持ち直しの兆しが見られましたが、中国経済の減速などから本格的な改善に至らず、内航海運では堅調な荷動きが続いたものの、燃料油価格が上昇局面になるなど、内外航ともに先行き不透明な経営環境になりました。

こうした情勢下、当社グループの第1四半期連結累計期間の売上高は110億86百万円となり前年同期に比べて5.5%の増収となりました。営業損益については、当第1四半期も例年通り内航船の入渠費用が嵩んだものの、一部の船舶で耐用年数の変更等を行い、減価償却費が減少したことなどにより前年同期1億65百万円の損失に対して当四半期は43百万円の損失となり、経常損益は前年同期1億4百万円の損失に対して当四半期は68百万円の損失となりました。親会社株主に帰属する四半期純損益は前年同期68百万円の損失に対して当四半期は13百万円の損失となりました。

事業のセグメント別業績概況は次のとおりです。

「近海部門」

鋼材輸送では、鉄鋼製品の堅調な国内需要により輸出の出荷が伸びておらず、当社の輸送量も前年同期並みとなりました。木材輸送では、バイオマス発電用燃料のPKSやウッドペレットの輸入量が増加するなかで、当社の輸送量も前年同期を上回りました。バルク輸送では、主要貨物であるロシア炭の輸送量は前年同期並みとなりました。この結果、部門全体では前年同期並みの輸送量となりました。

同部門では、前年同期に比べて市況の改善や円安などもあり、売上高は32億88百万円となり前年同期に比べて6.8%の増収となりましたが、営業損益は用船料などの費用の増加もあり前年同期に比べて30.2%の減益の52百万円の利益となりました。

「内航部門」

定期船輸送では、運航船の入れ替えを実施し、釧路/日立航路での船舶の大型化と清水/大分航路での高速船によるスケジュールの安定化を図り、輸送量は前年同期を上回りました。フェリー輸送では、大型連休により旅客と乗用車の輸送量は前年同期を大幅に上回りましたが、トラックについては、宮古/室蘭航路が本格稼働となったものの、貨物の定着に時間を要していること、また、前年同期に同航路開設前の船舶を活用して例年以上の航海数となっていた八戸/苫小牧航路の運航体制が通常通りとなり航海数が減少したことにより、輸送量は前年同期を下回りました。不定期船輸送では、石灰石・石炭の各専用船は安定した稼働となりました。この結果、部門全体では前年同期並みの輸送量となりました。

同部門では、フェリー輸送での旅客と乗用車の乗船が増加したことや定期船輸送の清水/大分航路での貨物量の増加などにより、売上高は74億66百万円となり前期に比べて5.2%の増収となりました。営業損益は当四半期も入渠が集中したものの、前年同期比で減価償却費が減少したことなどにより、前年同期1億22百万円の損失に対し、当四半期は14百万円の損失となりました。

「OSV部門」

OSV部門は、連結子会社である株式会社オフショア・オペレーションが事業遂行を担っておりますが、当第1四半期は、新宮沖南海トラフでの地球深部探査船“ちきゅう”の支援や新潟沖での掘削支援などに従事しました。

同部門では、2019年1月から3月が当第1四半期の対象期間となりますが、当第1四半期は、冬場の閑散期を利用して、各船の入渠を実施し、稼働時期に限りがあったことから売上高は略前年同期並みの3億31百万円となり、営業損益は前年同期1億18百万円の損失から改善したものの、入渠費用の負担もあり81百万円の損失となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ7億58百万円減少し476億12百万円となりました。流動資産は、主に現金及び預金の増加により48百万円増加し157億36百万円となりました。固定資産は、主に船舶の減少により8億6百万円減少し318億76百万円となりました。

負債は、前連結会計年度末に比べ3億89百万円減少し210億78百万円となりました。流動負債は、主に短期借入金の減少により79百万円減少し91億43百万円となりました。固定負債は、主に長期借入金の減少により3億10百万円減少し119億35百万円となりました。

純資産は、主に利益剰余金の減少により、前連結会計年度末に比べ3億69百万円減少し265億33百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、2019年4月26日の発表から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,280,323	4,935,722
受取手形及び営業未収入金	5,795,701	5,540,506
原材料及び貯蔵品	738,866	724,469
短期貸付金	3,590,000	3,544,000
その他	1,293,895	1,000,457
貸倒引当金	△10,488	△8,800
流動資産合計	15,688,298	15,736,354
固定資産		
有形固定資産		
船舶(純額)	28,093,696	26,959,302
建物及び構築物(純額)	338,897	333,398
土地	885,148	885,148
建設仮勘定	10,869	277,455
その他(純額)	518,590	653,472
有形固定資産合計	29,847,202	29,108,776
無形固定資産	103,965	99,743
投資その他の資産		
投資有価証券	1,104,657	981,059
長期貸付金	59,523	58,552
退職給付に係る資産	234,627	243,461
繰延税金資産	626,829	693,451
敷金及び保証金	434,763	433,711
その他	289,715	276,233
貸倒引当金	△18,595	△18,594
投資その他の資産合計	2,731,522	2,667,874
固定資産合計	32,682,690	31,876,394
資産合計	48,370,988	47,612,749

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	3,291,298	4,270,637
短期借入金	3,533,452	2,927,156
未払法人税等	627,732	143,400
賞与引当金	270,228	123,916
役員賞与引当金	40,000	9,000
その他	1,459,807	1,669,343
流動負債合計	9,222,519	9,143,454
固定負債		
長期借入金	10,429,584	10,017,570
長期末払金	544,288	473,661
繰延税金負債	6,350	3,552
再評価に係る繰延税金負債	53,569	53,569
役員退職慰労引当金	158,695	157,930
特別修繕引当金	458,495	520,375
退職給付に係る負債	284,862	286,107
その他	309,650	422,676
固定負債合計	12,245,495	11,935,443
負債合計	21,468,015	21,078,898
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,368,650	2,368,650
資本剰余金	1,250,124	1,250,124
利益剰余金	21,701,523	21,512,215
自己株式	△28,609	△28,609
株主資本合計	25,291,688	25,102,380
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	224,028	113,362
土地再評価差額金	123,543	123,543
為替換算調整勘定	120,389	77,374
退職給付に係る調整累計額	△36,939	△36,420
その他の包括利益累計額合計	431,022	277,859
非支配株主持分	1,180,262	1,153,610
純資産合計	26,902,973	26,533,851
負債純資産合計	48,370,988	47,612,749

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	10,507,328	11,086,420
売上原価	9,579,957	10,051,454
売上総利益	927,371	1,034,965
販売費及び一般管理費	1,092,707	1,078,962
営業損失(△)	△165,336	△43,996
営業外収益		
受取利息	6,088	4,108
受取配当金	31,884	26,256
為替差益	9,510	—
受取補償金	28,448	—
その他	21,112	10,495
営業外収益合計	97,043	40,860
営業外費用		
支払利息	35,724	25,732
為替差損	—	39,716
その他	510	266
営業外費用合計	36,235	65,714
経常損失(△)	△104,528	△68,849
税金等調整前四半期純損失(△)	△104,528	△68,849
法人税、住民税及び事業税	37,295	22,884
法人税等調整額	△46,538	△56,711
法人税等合計	△9,242	△33,826
四半期純損失(△)	△95,285	△35,023
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△26,607	△21,851
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△68,677	△13,171

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純損失(△)	△95,285	△35,023
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,604	△110,666
繰延ヘッジ損益	△5,280	—
為替換算調整勘定	54,404	△43,015
退職給付に係る調整額	874	519
その他の包括利益合計	52,602	△153,163
四半期包括利益	△42,682	△188,186
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△16,074	△166,335
非支配株主に係る四半期包括利益	△26,607	△21,851

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)

(会計上の見積りの変更等)

当社及び一部の連結子会社は、一部の船舶の耐用年数について、新たに長期運航契約が締結されたことを契機に、経済的使用可能予測期間（長期運航契約期間）に変更しております。

また、従前より、長期運航契約の対象船については定額法を採用していることから、上記船舶の償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これらの変更により、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の営業損失、経常損失、税金等調整前四半期純損失が96,088千円減少しております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	近海部門	内航部門	OSV部門	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,079,529	7,099,048	327,878	10,506,456	872	10,507,328
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,079,529	7,099,048	327,878	10,506,456	872	10,507,328
セグメント利益又は損失(△)	75,055	△122,143	△118,392	△165,480	144	△165,336

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	△165,480
「その他」の区分の利益	144
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△165,336

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	近海部門	内航部門	OSV部門	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,288,095	7,466,454	331,096	11,085,646	773	11,086,420
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,288,095	7,466,454	331,096	11,085,646	773	11,086,420
セグメント利益又は損失(△)	52,395	△14,979	△81,563	△44,146	150	△43,996

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△44,146
「その他」の区分の利益	150
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△43,996

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示に記載のとおり、一部の船舶の耐用年数について、新たに長期運航契約が締結されたことを契機に、経済的使用可能予測期間(長期運航契約期間)に変更し、また上記船舶の償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これらの変更により、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の「内航部門」のセグメント損失が96,088千円減少しております。